

一般社団法人国際法協会日本支部 2013年度事業報告書(2013.4.1~2014.3.31)

住所 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学法学部研究室内
代表理事 村瀬信也



当法人の2013年度終了に伴い、以下の通りご報告申し上げます。

1. 会員総会

定時会員総会を2013年4月20日13時45分~14時15分に東京大学山上会館において行った。議事の詳細は、資料Aを参照。

2. 理事会

第1回理事会を2013年4月20日12時10分~13時30分に東京大学山上会館において行った。議事の詳細は、資料Bを参照。

第2回理事会を2013年11月11日18時30分~20時10分に私学会館(アルカディア市ヶ谷)において行った。議事の詳細は、資料Cを参照。

3. 事業活動その1 研究活動

① 国内大会

国内大会を2013年4月20日11時~18時に東京大学山上会館において行った。大会の詳細は次の通り。

午前の部 テーマ「武力紛争犠牲者に対する賠償」 座長 中谷和弘・東京大学教授
報告 「武力紛争犠牲者のための賠償メカニズムの構築——Mass Claims Processの意義と課題」 古谷修一・早稲田大学教授・ILAJ武力紛争犠牲者賠償委員会報告者
討論・質疑応答

午後の部 テーマ「気候変動」 座長 松井芳郎・名古屋大学名誉教授
報告 「国際法協会『気候変動に関する法原則』委員会の活動と研究作業(2008~2012年)」 吉田脩・筑波大学教授・ILAJ気候変動委員会委員
「気候変動の将来枠組をめぐる国際交渉の現状と課題」 田村政美・外務省気候変動課長
「排出枠取引制度——国内法の課題を中心に」 大塚直・早稲田大学教授
「気候変動と国際経済法」 平覚・大阪市立大学教授
討論・質疑応答

② 国際委員会

国際委員会委員を海外で開催された委員会に派遣した。

4. 事業活動その2 出版活動

英文国際法年報 (Japanese Yearbook of International Law) 第56巻の出版を行った。同巻は2014年3月に刊行された。同巻の目次は、資料Dを参照。

5. 決算

2014年4月19日開催の会員総会において全員一致で承認された。詳細は、資料Eを参照。

一般社団法人国際法協会日本支部 2013年度定時会員総会議事録

日時：2013年4月20日（土）13時45分～14時15分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

会員総数：304名

出席者及び委任状提出者の総数：160名

出席理事（16名）：畑場準一、位田隆一、岩澤雄司、内田久司、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、櫻田嘉章、道垣内正人、中谷和弘、広部和也、森川幸一、松井芳郎、宮崎繁樹、村瀬信也

出席監事（1名）：川村明

村瀬信也代表理事が議長席につき、出席者及び委任状提出者の総数が160名ゆえ、定足数を満たし本総会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

審議事項1：2012年度事業報告及び同年度の決算案（事業報告書、公益目的支出計画実施報告書、貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）の承認の件

各担当理事から、2012年度事業報告及び同年度決算案（事業報告書、公益目的支出計画実施報告書、貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2013年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事より、2013年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員の承認の件

担当理事より、理事会としては今井直・宇都宮大学教授、古谷健太郎・海上保安大学校准教授、松浦陽子・東北学院大学講師、松隈潤・東京外国語大学教授、岩本誠吾・京都産業大学教授、川眞田嘉壽子・立正大学教授の6名を会員総会に新入会員として推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：特別会員の承認の件

担当理事より、理事会としては会員総会に対して、長嶺安政、佐藤地、三上正浩、道井緑一郎の各氏にかえて石井正文、山上信吾、小林賢一、赤堀毅の各氏を特別会員として推薦し、承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項5：理事の選任の件

代表理事より、長嶺安政理事から理事の辞任届が提出されていること、理事会としては会員総会に対して長嶺氏の補欠の理事として石井正文氏を推薦し、石井氏を長嶺氏の補欠の理事に選任して頂きたい旨の説明がなされた。会員総会は、全員一致、石井正文氏を長嶺

安政前理事の補欠の理事として選任した。被選任者は、席上、その就任を承諾した。石井理事の任期は前任者である長嶺氏の任期の満了する時（平成26年の定時会員総会の終結の時）までであることが確認された。

審議事項6：世界大会の日本開催の件

代表理事より、2012年度第3回理事会での決定に基づき、世界大会を2020年に日本において開催する旨を本年5月開催の国際法協会本部理事会において表明したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、村瀬信也（代表理事・議長）、熊倉禎男（業務執行理事）、奥脇直也（業務執行理事）は、次に記名押印する。

2013年 4月 30日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長）

村瀬信也

業務執行理事

熊倉禎男

業務執行理事

奥脇直也

議事録作成者

理事・庶務主任

中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2013年度第1回理事会議事録

日時：2013年4月20日（土）12時10分～13時30分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

理事総数：26名（山田中正理事が2013年3月21日に逝去のため26名となる）

出席者 理事（16名） 畑場準一、位田隆一、岩澤雄司、内田久司、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、櫻田嘉章、道垣内正人、中谷和弘、広部和也、森川幸一、松井芳郎、宮崎繁樹、村瀬信也

監事（1名）：川村明

欠席者 理事：安藤仁介、鴻常夫、落合誠一、小和田恒、川又良也、小寺彰、長嶺安政、松岡博、柳井俊二、山本草二

監事：折田正樹

村瀬信也代表理事が議長席につき、出席理事が上記16名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、庶務主任（庶務担当理事）、会計主任（会計担当理事）、研究企画主任（研究企画担当理事）、編集副主任（編集担当理事）から、自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2012年度事業報告及び同年度決算案（事業報告書、公益目的支出計画実施報告書、貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）の件

各担当理事より、2012年度事業報告及び同年度決算案（事業報告書、公益目的支出計画実施報告書、貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2013年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事より、2013年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：理事及び特別会員の件

代表理事より、理事につき、長嶺安政理事より辞任届が提出されたこと、長嶺氏の補欠の理事として石井正文氏を補欠の理事とすることを会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

担当理事より、特別会員につき、2012年度第3回理事会後の事情もふまえて、同理事会で会員総会への推薦が決定された者のうち山上信吾氏、小林賢一氏、及び石井正文氏、赤堀毅氏の計4名を会員総会に特別会員に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：新入会員承認の件

担当理事より、古谷健太郎・海上保安大学校准教授、松浦陽子・東北学院大学講師、

松隈潤・東京外国語大学教授、岩本誠吾・京都産業大学教授、川眞田嘉壽子・立正大学教授の5名を会員総会に新入会員として推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項5：諸規程の件

担当理事より、理事会運営規程、会計規程、会員規程、入退会届規程、事務局組織運営規程、主任規程、委員会規程の7つの規程の案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、村瀬信也(代表理事・議長)、川村明(監事)は、次に記名押印する。

2013年4月30日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事(議長) 村瀬信也

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2013年度第2回理事会議事録

日時：2013年11月11日（月）18時30分～20時10分

場所：私学会館（アルカディア市ヶ谷）7階白根の間

理事総数：24名

出席者

理事（16名）畑場準一、岩澤雄司、鴻常夫、奥脇直也、落合誠一、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、小寺彰、櫻田嘉章、道垣内正人、中谷和弘、広部和也、宮崎繁樹、村瀬信也、森川幸一

出席監事（2名）折田正樹、川村明

欠席者

理事：安藤仁介、石井正文、位田隆一、内田久一、小和田恒、川又良也、松井芳郎、柳井俊二

村瀬信也代表理事が議長席につき、出席理事が上記16名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、各主任による報告

代表理事、業務執行理事、各主任（庶務、会計、編集、研究企画の各担当理事）から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2013年度事業報告及び同年度予算執行状況の件

各担当理事より、2013年事業報告及び同年度予算執行について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：次期の理事及び執行部の件

代表理事より、次期の理事及び執行部に関する一般的方針が示され、全員一致、これを承認した。

審議事項3：世界大会の件

代表理事より、2020年に京都で開催される世界大会について、今後の一般的方針が示され、全員一致、これを承認した。

審議事項4 その他

担当理事より、特別会員として、小林麻紀氏及び小林賢一氏に代えて中村和彦氏及び御巫智洋氏に就任して頂くことが提案され、全員一致、これを承認し、2014年4月開催の会員総会の承認を求めることとした。また、担当理事より、3名の会員（松岡博理事、山本草二理事、本間浩会員）の逝去につき報告があった。これにより、通常会員289名、特別会員7名、維持会員11名の計307名となる。

担当理事より、公印管理規程の案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、村瀬信也(代表理事・議長)、折田正樹(監事)、川村明(監事)は、次に記名押印する。

2013年11月14日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 村瀬信也

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

Volume 56 (2013)

CONTENTS

ARTICLES

THE ROLE OF PROMINENT JURISTS IN JAPAN'S ENGAGEMENT WITH
INTERNATIONAL LAW, 1853-1945

- Introduction: The Role of Prominent Jurists in Japan's Engagement with
International Law, 1853-1945 *Masabaru Yanagihara* 1
- Learning the New Law, Envisioning the New World:
Meiji Japan's Reading of Henry Wheaton *LAM Hok-chung* 4
- Yukichi Fukuzawa (1835-1901) — Revisiting Fukuzawa from
a Comparative Perspective — *HAN Sang-hee* 37
- Thomas Baty: An International Lawyer as Public Intellectual between
Imperial Japan and the Republic of China *Anthony Carty* 70
- Mineitciro Adatci (1869-1934):
His Concept of International Adjudication *Masabaru Yanagihara* 95
- Sakutarō Tachi: A Blend of Scholarship and Practitionership,
and Its Fate in Japan *AKASHI Kinji* 122
- Juji Enomoto: The Case of an International Lawyer in the Imperial
Japanese Navy *Masabiro Kurosaki and Akira Mayama* 144

HISTORICAL PERSPECTIVE OF JAPANESE PRIVATE INTERNATIONAL LAW

- The Origin and Evolution of Private International Law in Japan
..... *Yoshiaki Sakurada* 164
- Nobushige Hozumi and Saburo Yamada
— The Enactment of the *Horei* of 1898 — *Aki Kitazawa* 181
- The Beginning and Development of Japanese Doctrines on the Private
International Law — Koichi Yamaguchi (1866-1945) and Iwataro Kubo
(1897-1980) *Jun'ichi Akiba* 196

x CONTENTS

Sadajiro Atobe and Kotaro Tanaka: The Universal Private International
Law School of Thought in Japan *Keisuke Takeshita* 217

Hidebumi Egawa: Founder of the Internationalist Tradition
in the Japanese Conflict of Laws..... *Dai Yokomizo* 243

THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE AND INTERNATIONAL LAW

The International Legal Framework for Liability and Compensation for
Damage from Nuclear Accidents — History, Present Challenges,
and Future Course *Rokuichiro Michii* 257

The International Atomic Energy Agency and the International Legal
Framework for Nuclear Safety
..... *Wolfram Tonbauser and Anthony Wetherall* 283

PRIVATE INTERNATIONAL LAW

Is a Uniform Law Always Preferable to Private International Law?
— A Critical Review of the Conventional Debate on Uniform Law and
Private International Law from the Viewpoint of Economic Analysis —
..... *Toshiyuki Kono and Kazuaki Kagami* 314

JAPANESE DIGEST OF INTERNATIONAL LAW

Implementation of Conventions Requiring State Parties to Establish Jurisdiction
Over Extraterritorial Crimes — Enactment of Article 4-2 of the Japanese Penal
Code — *Mari Takeuchi* 338
Suppression Conventions — Extraterritorial Crimes — Obligation to Criminalize
— Obligation to Ensure Prosecution — Principle of aut dedere aut iudicare —
Principle of Legality — Means to Ensure Legal Certainty of the Treaty Provision —
Domestic Procedures to Make the Contents of Treaty Provisions Known to the Public
— Operation of Article 4-2

CASES AND ISSUES IN JAPANESE PRIVATE INTERNATIONAL LAW

Choice-of-Law Rules to Answer an Incidental Question *Takami Hayashi* 357

BOOK REVIEWS

- Kaku ni Tachimukau Kokusaibo — Genten karano Kensho* [International Law against the Use of Nuclear Weapons: Analysis of Its Developments since the Origin of the Issue], by Hisakazu Fujita. Kyoto: Horitsubunkasha, 2011.
..... *Tatsuya Abe* 367
- Ryoiki Kengen Ron — Ryoiki Shibai no Jikkousei to Seitousei* [The Acquisition of Territory in International Law: The Effectiveness and Legitimacy of Territorial Control] (with English summary), by Sookyeon Huh. Tokyo: University of Tokyo Press, 2012..... *Hironobu Sakai* 368
- Kokusai Chiteki Zaisanken Hogo to Ho no Teisboku* [International Protection of Intellectual Property Rights and Conflict of Laws], by Eonsuk Kim. Tokyo: Shinzansha, 2011..... *Atsuko Yamaguchi* 371
- Dokdo, Historical Appraisal, and International Justice*, edited by Seokwoo Lee and Hee Eun Lee. Leiden: Martinus Nijhoff Publishers, 2011.
..... *Tetsuya Nakano* 374
- Gendaikokusaihō no Shisō to Kōzō* [Thoughts and Structure of Contemporary International Law], 2 Volumes (Volume I: History, State, Organization, Treaties, and Human Rights; Volume II: Environment, Sea, Criminal Matters, Disputes, and Perspective), edited by Takeo Matsuda, Norio Tanaka, Kimio Yakushiji, and Shigeki Sakamoto. Tokyo: Toshindo, 2012.
..... *Toshiya Ueki* 378
- International Law: An Integrative Perspective on Transboundary Issues*, by Shinya Murase. Tokyo: Sophia University Press, 2011. *Mari Koyano* 381
- Kokusaibo Ronshū* [Essays in International Law], by Shinya Murase. Tokyo: Shinzansha, 2012..... *Yasubiro Shigeta* 385
- Patent Litigation in Japan and Germany* (Zeitschrift für japanisches Recht, Special Issue 3), edited by Guntram Rahn. Carl Heymanns Verlag, 2011.
..... *Peter Ganea* 388
- Kokusaiminjisobō to Kokusaishibō Ronshū* [Treatises on the Law of Cross-border Civil Procedure and Private International Law], by Akira Takakuwa. Tokyo: Toshindo, 2011..... *Yasubito Inoue* 391
- Kokusai-shibō/Kokusai-toribikibō no Shomondai* [Issues in International Private Law and International Trade Law], edited and written by Hiroshi Taki. Tokyo: Chuo University Press, 2011..... *Shinomi Matsunaga* 394

JUDICIAL DECISIONS IN JAPAN	398
I. Public International Law	
Supreme Court, Judgment, December 8, 2011.....	399
<i>Protection of Copyrighted Works of the Democratic People's Republic of Korea — Article 6(3) of Japan's Copyright Act — Legal Relations under the Berne Convention with an Unrecognized State</i>	
Tokyo District Court, Judgment, October 1, 2010.....	402
<i>Recognition of Refugee Status — Non-refoulement — Special Permission to Stay — Nullity of the Disposition of Issuance of a Written Deportation Order</i>	
Yokohama District Court, Judgment, November 24, 2011.....	413
<i>Responsibility of the State under Article 1 of the Special Civil Act Attendant upon the Enforcement of the "Agreement under Article VI of the Treaty of Mutual Cooperation and Security between Japan and the United States of America Regarding Facilities and Areas and the Status of United States Armed Forces in Japan" — Necessity to Consider the Special Nature of Military Personnel and Civilian Employees of Foreign Armed Forces in Japan — Delinquency of United States Naval Force in Japan to Supervise the Military Personnel and Civilian Employees</i>	
Tokyo District Court, Judgment, December 19, 2011.....	423
<i>United Nations Security Council Resolution 1737 — Prevention of Specialized Teaching or Training of Iranian Nationals — Refugee Convention — Discrimination Based on Nationality</i>	
II. Private International Law	
Tokyo High Court, Judgment, January 18, 2012.....	427
<i>Applicable Law for Rights in rem and Superficies in Japan — Act on General Rules for the Application of Laws — The Horei — Conditions for Validly Acquiring Superficies</i>	
Tokyo District Court, Judgment, May 24, 2012.....	430
<i>International Adjudicatory Jurisdiction — Place Where the Damage Occurred — Place of Performance — Applicable Law — Employment Dispute — Tort — Employment Contract — Bonus Reduction</i>	
Tokyo District Court, Decision, July 11, 2012.....	439
<i>Copyright Law — Act on the General Rules for Application of Laws — Damages for Infringement — Cease and Desist Order</i>	

CHRONOLOGY OF JAPANESE FOREIGN AFFAIRS	444
CHRONOLOGICAL LIST OF TREATIES AND OTHER INTERNATIONAL AGREEMENTS CONCLUDED BY JAPAN IN 2012.....	467
DOCUMENTS	
I. National Legislation	
Act to Partially Amend the Mining Act	470
II. Other Document	
Memorandum of Understanding between the United States of America and Japan with Respect to the WTO Dispute Regarding the Zeroing Procedures in the United States Anti-Dumping Proceedings.....	475
ACTIVITIES	
I. Activities of the International Law Association of Japan.....	480
II. Activities of Related Academic Associations in Japan	487
INSTRUCTIONS FOR SUBMISSIONS TO THE JYIL	495
TABLE OF CASES	498
TABLE OF TREATIES AND OTHER INSTRUMENTS	500

資料 E

2013年度

財務諸表

(2013年4月1日から平成2014年3月31日まで)

一般社団法人 国際法協会日本支部

正味財産増減計算書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	4,580,000	4,828,000	-248,000	別紙1項
年鑑分与事業収益	4,068,215	3,926,640	141,575	
受取補助金等	400,000	400,000	0	別紙4項
雑収益	166,847	200,695	-33,848	別紙5項
経常収益計	9,215,062	9,355,335	-140,273	
(2) 経常費用				
事業費				
編集費	3,083,589	3,247,377	-163,788	
印刷製本費	5,450,865	5,460,840	-9,975	
世界大会・国際委員会関係費	704,170	1,808,260	-1,104,090	
国内大会・国内委員会関係費	303,180	302,163	1,017	別紙6項
本部負担金	1,418,858	1,228,679	190,179	別紙7項
管理費				
給料手当	840,000	840,000	0	
支部会議費	132,782	274,432	-141,650	
本部会議費	493,000	259,920	233,080	
旅費交通費	120,000	120,000	0	
通信運搬費	113,680	121,105	-7,425	
消耗品費	42,805	42,168	637	
租税公課	70,000	70,000	0	
新法人移行関連費支出	244,410	222,130	22,280	
雑 費	166,326	100,435	65,891	別紙8項
経常費用計	13,183,665	14,097,509	-913,844	
評価損益等調整前当期経常増減額	-3,968,603	-4,742,174	773,571	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	-3,968,603	-4,742,174	773,571	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-3,968,603	-4,742,174	773,571	
一般正味財産期首残高	72,063,992	76,806,166	-4,742,174	
一般正味財産期末残高	68,095,389	72,063,992	-3,968,603	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	68,095,389	72,063,992	-3,968,603	

(参考) 収支計算書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入				別紙1項
維持会費収入(法人)	400,000	400,000	0	
維持会費収入(非法人)	700,000	700,000	0	
通常会費収入	3,504,000	3,480,000	-24,000	
② 事業収入				
年鑑分与事業収入	3,900,000	4,068,215	168,215	
③ 補助金等収入				
民間助成金収入	400,000	400,000	0	別紙4項
④ 雑収入				別紙5項
受取利息収入	20,000	16,847	-3,153	
雑収入	0	150,000	150,000	
事業活動収入計	8,924,000	9,215,062	291,062	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
年鑑費支出				
・編集費支出	3,200,000	3,083,589	-116,411	
・印刷製本費支出	5,600,000	5,450,865	-149,135	
研究活動費支出				
・世界大会・国際委員会関係費	1,000,000	704,170	-295,830	
・国内大会・国内委員会関係費	400,000	303,180	-96,820	別紙6項
本部負担金支出	1,381,953	1,418,858	36,905	別紙7項
小計	11,581,953	10,960,662	-621,291	
② 管理費支出				
給料手当支出	840,000	840,000	0	
支部会議費支出	300,000	132,782	-167,218	
本部会議費支出	800,000	493,000	-307,000	
旅費交通費支出	120,000	120,000	0	
通信運搬費支出	110,000	113,680	3,680	
消耗品費支出	50,000	42,805	-7,195	
租税公課支出	70,000	70,000	0	
新法人移行関連費支出	200,000	244,410	44,410	
雑支出	100,000	166,326	66,326	別紙8項
小計	2,590,000	2,223,003	-366,997	
事業活動支出計	14,171,953	13,183,665	-988,288	
事業活動収支差額	-5,247,953	-3,968,603	1,279,350	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	50,000	0	-50,000	
当期収支差額	-5,297,953	-3,968,603	1,329,350	
前期繰越収支差額	72,063,992	72,063,992	0	
次期繰越収支差額	-5,247,953	-3,968,603	1,279,350	
次期繰越収支差額	66,766,039	68,095,389	1,329,350	

貸借対照表

2014年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	68,032,389	73,974,390	-5,942,001
未収入金	72,000	84,000	-12,000
流動資産合計	68,104,389	74,058,390	-5,954,001
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	68,104,389	74,058,390	-5,954,001
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	1,973,398	-1,973,398
前受金	9,000	21,000	-12,000
流動負債合計	9,000	1,994,398	-1,985,398
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,000	1,994,398	-1,985,398
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	68,095,389	72,063,992	-3,968,603
(うち特定資産への充当額)	(-)	(-)	(-)
正味財産合計	68,095,389	72,063,992	-3,968,603
負債及び正味財産合計	68,104,389	74,058,390	-5,954,001

別紙2項

別紙3項

一般社団法人国際法協会日本支部
2013年度財務諸表 別紙

(単位: 円)

1 会費収入内訳					4,580,000		
① 維持会員(法人)	(100,000	×	4社 4口)	-	0	=	400,000
			未収金回収分		0		
			今期未収分		0		
② 維持会員(非法人)	(100,000	×	7名 7口)	-	0	=	700,000
			未収金回収分		0		
			今期未収分		0		
③ 通常会員(会費免除者を除く)	(12,000	×	292名 292口)	-	24,000	=	3,480,000
							*本間浩氏(ご逝去)分会費(H25年度分)

会員数推移

●期首入会者 通常会員 6名 今井 直、古谷 健太郎、松浦 陽子、松隈 潤、
(※敬称略) 岩本 誠吾、川真田 嘉壽子

~~期首会員数 通常会員 292名 特別会員(会費免除) 7名 維持会員 法人 4社 非法人 7名~~

●3月末までの退会者 維持会員(法人) なし
(※敬称略) 維持会員(非法人) なし
通常会員 9名 道垣内弘人、松田竹男、溜池良夫、徳江鈴
(ご逝去)本間 浩、松岡 博、山本 草二、小寺彰、林久茂

~~期末会員数 通常会員 283名 特別会員(会費免除) 7名 維持会員 法人 4社 非法人 7名~~

2 未収会費

前期繰越	84,000	+	今期未収	72,000	-	今期回収	60,000	=	72,000
						回収不能*	24,000		

*本間浩先生(ご逝去)分会費(H25年度分)を含む。

3 前受会費

前期繰越	21,000	-	今期分に充当	12,000	+	前受	0	=	9,000
------	--------	---	--------	--------	---	----	---	---	-------

*¥9,000は、小田滋先生H21年度会費前受け分。
H21年度より特別会員になられた為毎年持ち越してい

4 助成金収入内訳

	400,000
末延財団	200,000
安達財団	200,000

5 雑収益内訳

	166,847
・銀行口座の受け取り利息。	
・その他、下記を含む。	
2013年4月 理事会弁当代徴収分	36,000
2013年4月 懇親会代徴収分	104,000
雄松堂より寸志	10,000

6 2013年4月懇親会費 ¥98,280 を含む。
 (5項における懇親会費収入との差異 5,720)

7 本部送金額算出方法 1,418,858

303名	×	30	=	£9,090.00	
			×	156	
			+	3,000	(手数料)
			≒	<u>1,418,858</u>	(小数点以下切捨て)

155.76円は送金日4月26日時点のレート

※2012年度より会員数が6名減少したが、円安により、
 2012年度の送金額¥1,228,679(309名)から¥190,179の増額となった。

(1)円安により、一人あたり会費(706.2円)増加(303人分)	213,979
(2)6人分会費(2012年度送金時のレート¥132.22で)	<u>23,800</u>
(1)-(2)	190,179

8 雑費内訳 166,326

- ・残高証明書発行手数料、振込手数料、プロバイダー手数料(HP維持経費)、個人会費自動引き落とし代行手数料等を含む。
- ・2013年4月理事会弁当代 ¥36,960 を含む。
 (5項における懇親会費収入との差異 -960)

一般社団法人国際法協会日本支部

財産目録

2014年3月31日

(単位: 円)

(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金・預金	68,032,389	
(1) 現金	615,100	
(2) 普通預金		
みずほ銀行虎ノ門支店	2,208,403	
三井住友銀行丸の内支店	84,717	
三菱東京UFJ銀行新丸の内支店	86,228	
みずほ銀行銀座支店	7,136	
三菱東京UFJ銀行本店	1,411,059	
三菱東京UFJ銀行渋谷支店	116,703	
(3) 定期預金		
三井住友銀行丸の内支店	33,000,000	
三菱東京UFJ銀行本店	30,268,749	
(3) 金銭信託(ヒット)		
三菱信託銀行本店	234,294	
(4) 振替貯金	0	
2 未収金	72,000	
未収会費	72,000	
資 産 合 計		68,104,389
(負債の部)		
II 流動負債		
1 未払金	0	
2 前受会費	9,000	
負 債 合 計		9,000
正 味 財 産		68,095,389

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 棚卸し資産の評価基準及び評価方法
棚卸しの必要な資産は保有していない。
- (2) 固定資産の原価償却の方法
固定資産は保有していない。
- (3) 引当金の計上基準
引当金は設けていない。
- (4) 消費税の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 特定資産の増減額及びその残高
特定資産は、保有していない。

3 特定資産の財源等の内訳
上記2項に同じ。

4 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産は、保有していない。

5 債権の債権金額、当該債権の前期末残高及び当期末残高
債権の債権金額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位: 円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	73,974,390	68,032,389
未収金	84,000	72,000
合 計	74,058,390	68,104,389
未払金	1,973,398	0
前受会費	21,000	9,000
合 計	1,994,398	9,000
次期繰越収支差額	72,063,992	68,095,389

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産は、保有していない。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期減少額		その他	期末残高
		当期増加額	目的使用		
賞与引当金	0	0	0	0	0
退職給付引当金	0	0	0	0	0
役員退職慰労引当金	0	0	0	0	0

【事業別区分経理の内訳表】

平成 25年 4月 1日から平成 26年 3月 31日まで

(単位:円)

科目	実態事業等会計				その他会計				法人会計	内閣府引控除	合計
	種1	種2	共通	小計	種1	その他	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載				0				0			0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載				0				0			0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載				0				0			0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	4,580,000	0	4,580,000
受取会費				0				0	4,580,000		4,580,000
事業収益	0	4,068,215	0	4,068,215	0	0	0	0	0	0	4,068,215
年経分与事業収益		4,068,215		4,068,215				0			4,068,215
受取補助金等	400,000	0	0	400,000	0	0	0	0	0	0	400,000
受取助成金	400,000			400,000				0			400,000
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載				0				0			0
雑収益	0	0	166,847	166,847	0	0	0	0	0	0	166,847
受取利息			16,847	16,847				0			16,847
雑収益			150,000	150,000				0			150,000
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0				0			0
経常収益計	400,000	4,068,215	166,847	4,635,062	0	0	0	0	4,580,000	0	9,215,062

I 一般正味財産増減の部													
1 経常増減の部													
(1) 経常収益													
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用													
事業費	1,007,350	8,534,454	1,418,858	10,960,662	0	0	0	0	0	0	0	10,960,662	0
給料手当				0								0	
臨時雇賃金				0								0	
退職給付費用				0								0	
世界大会・国際委員会関係費	704,170			704,170								704,170	
国内大会・国内委員会関係費	303,180			303,180								303,180	
通信運搬費				0								0	
本部負担金			1,418,858	1,418,858								1,418,858	
消耗什器備品費				0								0	
消耗品費				0								0	
修繕費				0								0	
印刷製本費	5,450,865			5,450,865								5,450,865	
編集費	3,083,589			3,083,589								3,083,589	
光熱水料費				0								0	
賃借料				0								0	
保険料				0								0	
贈附金				0								0	
租税公課				0								0	
支払負担金				0								0	
支払助成金				0								0	
支払寄付金				0								0	
委託費				0								0	
有価証券運用損				0								0	
雑費				0								0	
管理費										2,223,003	0	2,223,003	
役員報酬												0	
給料手当										840,000		840,000	
退職給付費用												0	
支部会権費										132,782		132,782	
本部会議費										493,000		493,000	
旅費交通費										120,000		120,000	
通信運搬費										113,680		113,680	
減価償却費												0	
消耗什器備品費												0	
消耗品費										42,805		42,805	
修繕費												0	
印刷製本費												0	
燃料費												0	
光熱水料費												0	
賃借料												0	
保険料												0	
新法人移行関連費支出										244,410		244,410	
租税公課										70,000		70,000	
支払負担金												0	
支払寄付金												0	
支払利息												0	
有価証券運用損												0	
雑費										166,326		166,326	
経常費用計	1,007,350	8,534,454	1,418,858	10,960,662	0	0	0	0	0	2,223,003	0	13,183,665	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 607,350	△ 4,466,239	△ 1,252,011	△ 6,325,600	0	0	0	0	0	2,356,997	0	△ 3,968,603	
基本財産評価損益等				0								0	
特定資産評価損益等				0								0	
投資者有価証券評価損益等				0								0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 607,350	△ 4,466,239	△ 1,252,011	△ 6,325,600	0	0	0	0	0	2,356,997	0	△ 3,968,603	
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
中科目別記載				0						0		0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用													
中科目別記載				0						0		0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計調整額				0						0		0	
当期一般正味財産増減額	△ 607,350	△ 4,466,239	△ 1,252,011	△ 6,325,600	0	0	0	0	0	2,356,997	0	△ 3,968,603	
一般正味財産期首残高	0	0	72,063,992	72,063,992						0		72,063,992	
一般正味財産期末残高	△ 607,350	△ 4,466,239	70,811,981	65,738,392						2,356,997		68,095,389	
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
II 正味財産期末残高	△ 607,350	△ 4,466,239	70,811,981	65,738,392	0	0	0	0	0	2,356,997		68,095,389	

監事監査報告書

一般社団法人国際法協会日本支部
代表理事 村瀬 信也 殿

私たちは、本法人の2013年度 事業年度（2013年4月1日から2014年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他の重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表、附属明細書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

2014年4月7日

監事 折田正樹



監事 川村明

